



**平成21年3月期
決算説明資料**

TOKATSU

株式会社東葛ホールディングス

JASDAQ 2754

2009年 7月 1日

(株) ホンダカーズ東葛

<http://www.hondacars-tokatsu.jp/>



① 北小金店

〒270-0013
松戸市小金きよしヶ丘3-21-1
047-345-1151



② 柏16号店

〒277-0005
柏市柏1308-13
04-7164-8811



③ 五香店

〒270-2218
松戸市五香西1-12-16
047-386-6141



④ 千葉ニュータウン西店

〒270-1436
白井市七次台3-18-3
047-491-8800



⑤ 鎌ヶ谷店

〒273-0105
鎌ヶ谷市鎌ヶ谷9-7-70
047-441-7555



⑥ 南柏店

〒277-0855
柏市南柏2-9-2
04-7143-4151



⑦ 流山店

〒270-0176
流山市加5-1727
04-7150-1011



⑧ 松戸東店

〒270-2224
松戸市大橋394-15
047-361-5011



⑨ 我孫子6号店

〒270-1168
我孫子市根戸993-20
04-7181-8855

(株) ティーエスシー

<http://www.tsc-auto.co.jp/>



⑩ オートテラス松戸

〒270-0027
松戸市二ツ木531
047-343-4107



⑪ オートテラス我孫子

〒270-1168
我孫子市根戸993-2
04-7181-8220



⑫ 千葉流山インター店

〒270-0175
流山市三輪野山2-1-33
04-7178-6333

(株) 東葛プランニング

<http://www.tkpg.co.jp/>



⑭ LifeSalon 柏南口店

〒277-0852
柏市旭町1-6-1 サザンテナ柏1F
04-7140-2400



⑮ LifeSalon 新松戸店

〒270-0034
松戸市新松戸3-18-3 トモビル1F
047-330-5400

Contents

■企業紹介

■国内自動車販売の現状

■平成21年3月期決算について

■平成22年3月期事業戦略及び業績予想



東葛ホールディングス

■ 企業紹介

企業概要

- **社名** : 株式会社東葛ホールディングス
- **設立** : 昭和44年1月
- **資本金** : 210.3百万円
- **従業員数** : 145人（連結）
- **事業内容** : 自動車販売関連事業を中心とした4つの柱
 - ① 新車販売
 - ② 中古車販売
 - ③ サービス（点検整備等）
 - ④ その他（自動車ローン、自動車保険、生命保険等）
- **連結子会社** : 株式会社ホンダカーズ東葛
株式会社ティーエスシー
株式会社東葛プランニング

（平成21年3月末現在）



■ 国内新車販売の現状

販売台数の現状

■平成20年4月～21年3月の国内新車販売台数

単位:台

	平成19年4月 ～平成20年3月	平成20年4月 ～平成21年3月	対前年比
四輪総合計	5,319,542	4,700,684	88.4%
登録車	3,426,577	2,891,901	84.4%
届出車	1,892,965	1,808,783	95.6%
Honda合計	636,010	578,295	90.9%
登録車	412,237	389,194	94.4%
届出車	223,773	189,101	84.5%
当社合計	2,097	1,931	92.1%
登録車	1,808	1,669	92.3%
届出車	289	262	90.7%

日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会より

ご注意: この資料は、当社の一般公開情報に基づいて作成された資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

■ 平成21年3月期決算について



平成21年3月期決算 財務ハイライト（連結）

単位：百万円

	平成20年3月期	平成21年3月期
売上高	6,237	5,761
営業利益	314	139
経常利益	313	108
当期純利益	162	41
総資産	6,925	6,650
純資産	2,360	2,353
1株当当期純利益（円）	33.68	8.49
1株当純資産（円）	488.84	487.33
自己資本比率	34.1%	35.4%
売上高営業利益率	5.0%	2.4%

ご注意：この資料は、当社の一般公開情報に基づいて作成された資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。



平成21年3月期決算 貸借対照表（連結）

単位：千円

	平成20年3月期	平成21年3月期
資産の部		
流動資産	4,123,654	3,733,721
固定資産	2,801,898	2,894,070
繰延資産	-	23,021
資産合計	6,925,553	6,650,813
負債の部		
流動負債	3,910,301	3,624,839
固定負債	654,506	672,514
負債合計	4,564,808	4,297,354
純資産の部		
株主資本	2,360,744	2,353,459
負債・純資産合計	6,925,553	6,650,813

ご注意：この資料は、当社の一般公開情報に基づいて作成された資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。



平成21年3月期決算 損益計算書（連結）

単位：千円

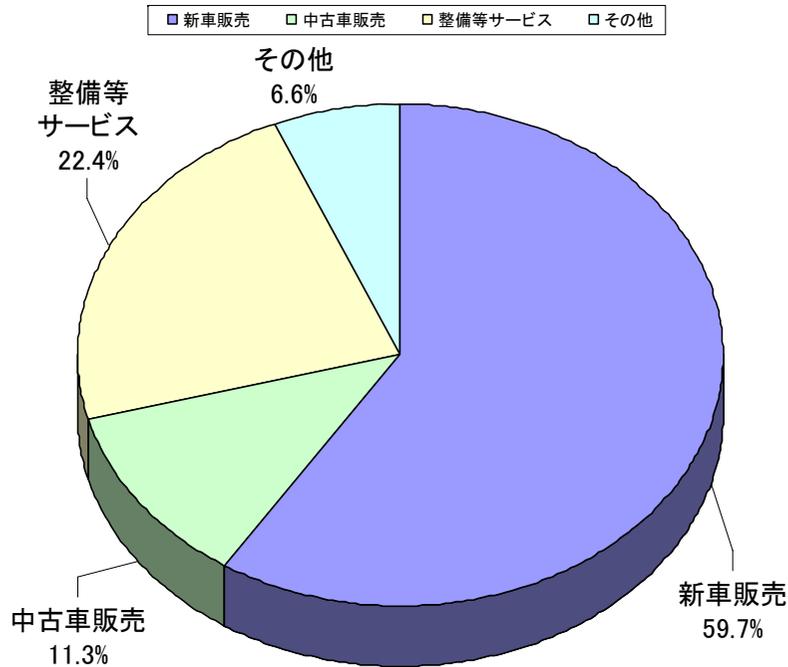
	平成20年3月期	平成21年3月期
売上高	6,237,518	5,761,719
売上原価	4,778,864	4,395,460
売上総利益	1,458,654	1,366,259
販売費及び一般管理費	1,144,653	1,226,650
営業利益	314,001	139,608
営業外収益	44,244	11,791
営業外費用	44,724	42,889
経常利益	313,520	108,510
特別損失	19,715	9,880
税金等調整前当期純利益	293,805	98,629
法人税等	131,142	57,623
当期純利益	162,662	41,006

ご注意：この資料は、当社の一般公開情報に基づいて作成された資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

平成21年3月期決算

部門別業績

《部門別売上高(連結)》

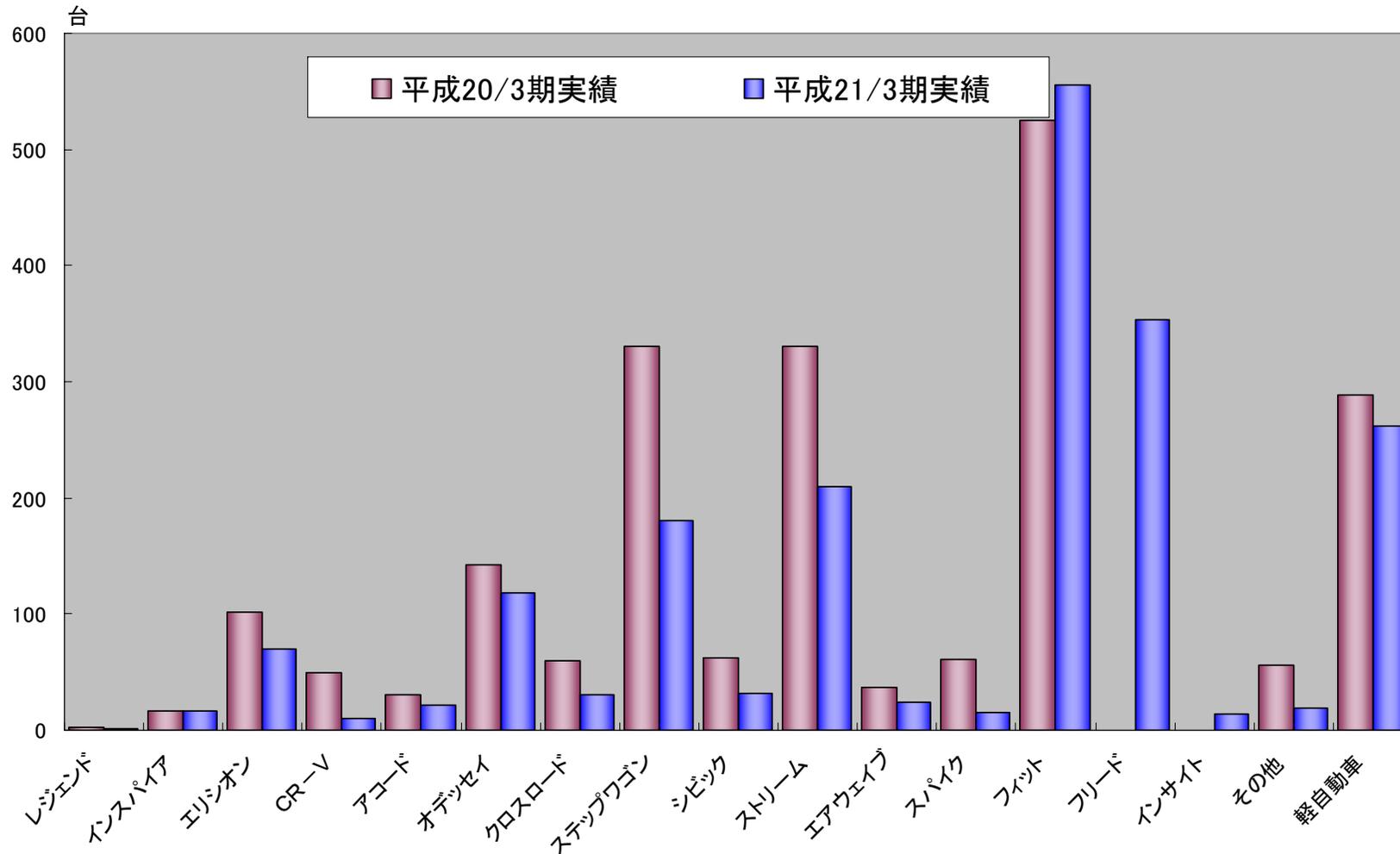


	売上高 (単位: 百万円)			
	平成20年3月期 実績	平成21年3月期 実績	構成比	前年 同期比
新車販売	3,832	3,439	59.7%	89.8%
中古車販売	719	652	11.3%	90.7%
整備等 サービス	1,302	1,290	22.4%	99.1%
その他	383	378	6.6%	98.7%
合計	6,237	5,761	100.0 %	92.4%

ご注意: この資料は、当社の一般公開情報に基づいて作成された資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

平成21年3月期決算

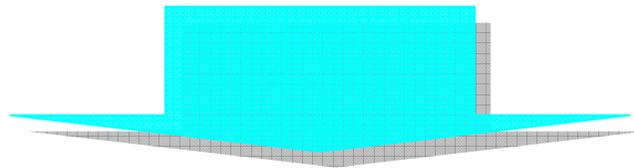
車種別新車登録台数



ご注意： この資料は、当社の一般公開情報に基づいて作成された資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

決算のポイント

- 今期の国内自動車販売台数は、車両耐久性の向上による保有年数の長期化に加えて、期の前半はガソリン価格の高騰、後半は景気の急速な悪化により、消費者の車両購入マインドの冷え込みが顕著に表れた1年であり、販売台数は約470万台と1980年度以来28年ぶりに500万台を割り込む結果となりました



売上の約60%を占める新車の販売台数の減少、単価の下落により総売上高は▲7.6%の減収、利益については生命保険関連事業の初期投資が予想以上にかさんだうえ、店舗の閉鎖費用を特別損失に計上したため、経常利益は1億8百万（前期比65.4%減）、当期純利益は41百万（前期比74.8%減）と大幅な減収となりました

部門別要因分析（１）

<新車部門>

- 07年フルモデルチェンジのフィット、5月発売のフリードは堅調な販売で推移いたしましたが、9月後半の金融不安に端を発する景気の急速な悪化は、下期の販売状況に大きく影響、顧客の小型車志向と相俟って、販売台数は1,931台（前期比7.9%減）、売上高は34億39百万（前期比10.2%減）となりました。



部門別要因分析（２）

<中古車部門>

- 7月にオープンしました千葉流山インター店の寄与もあり小売台数は前期に比べ、21.4%増の572台を確保しましたが、新車と同じく小型車志向は強く、台当たり単価の下落傾向が続いており売上高は6億52百万（前期比9.3%減）となりました



部門別要因分析（3）

<サービス部門>

- 今期は、車検到来台数が少なく、当初より苦戦が予想されたので、管理ユーザーに対するきめ細かいアプローチにより、車検点検の台数確保に努め、売上高は12億90百万（前期比0.9%減）とほぼ前年並みを確保しております。

<その他部門>

- 登録受取手数料やローン手数料は販売台数、台当たり単価に連動しているため大きく減少いたしました。
また、損害保険手数料は増加しましたが、新事業の生命保険手数料が当初予想を下回ったため、売上高は3億78百万（前期比1.3%減）となりました。

■ 平成22年3月期事業戦略および業績予想

事業戦略<新車部門>

- 新車販売は、本田技研工業株式会社の新車を販売
- (株)ホンダカーズ東葛として9店舗の新車拠点を運営

<取扱車種>

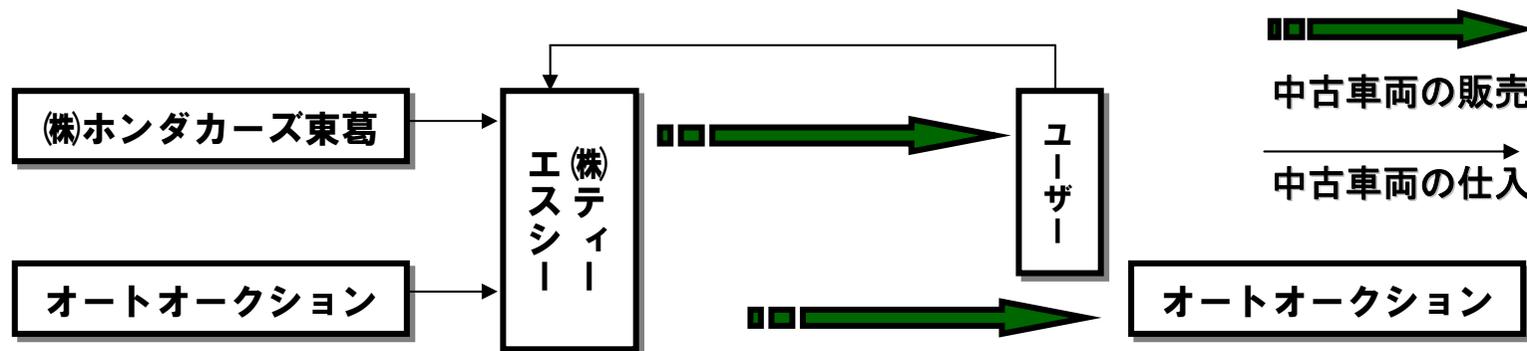
レジェンド、アコード、アコードワゴン、S2000、CR-V、インスパイア、エリシオン、エディックス、オデッセイ、ステップワゴン、ストリーム、フィット、フィットアリア、エアウェイブ、パートナー、インサイト、シビック、シビックハイブリッド、クロスロード、ライフ、バモス、バモスホビオ、ゼスト、アクティ、アクティトラック

- 2月発売の新型ハイブリッド<インサイト>は予想以上の反響であり、集客に大きく貢献している。インサイトの販売活動はもちろんだが、フィット・フリードなどの主力車種への効果的な誘導により、販売台数の拡大に注力していく。



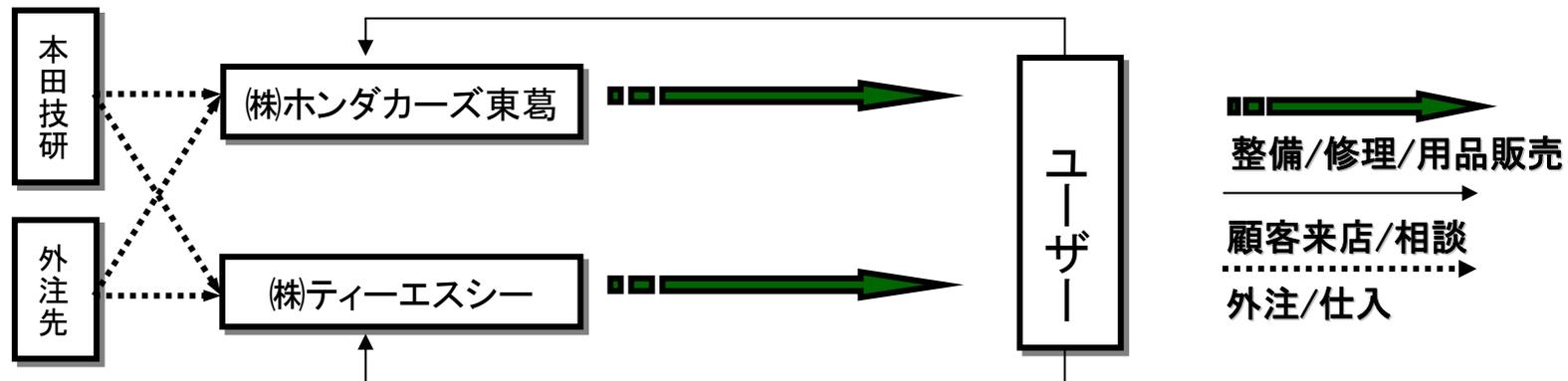
事業戦略<中古車部門>

- (株)ティーエスシーとして中古車拠点3店舗を運営
- 3店舗にサービス工場を併設し、お客様へのビフォー・アフターサービスを充実させ、顧客満足度の向上を図る
- HP上の中古車情報のタイムリーな改廃等による情報発信に努め集客率のアップを図る
- ホンダ車以外の販売を行う第3の店舗、千葉流山インター店の認知度が向上している。顧客のニーズに応える品揃えにより、販売台数の飛躍的な増加を目指す。



事業戦略<サービス部門>

- ホンダカーズ9拠点・ティーエスシー3拠点の全店にサービス工場を設置
- カーズ8拠点・ティーエスシー1拠点の指定工場化が完了
- 営業・サービス一体となった顧客取り込み活動を展開し、在庫率の向上に注力する



事業戦略<その他部門・ローン>

当社グループの中に、「信販会社」があるイメージ

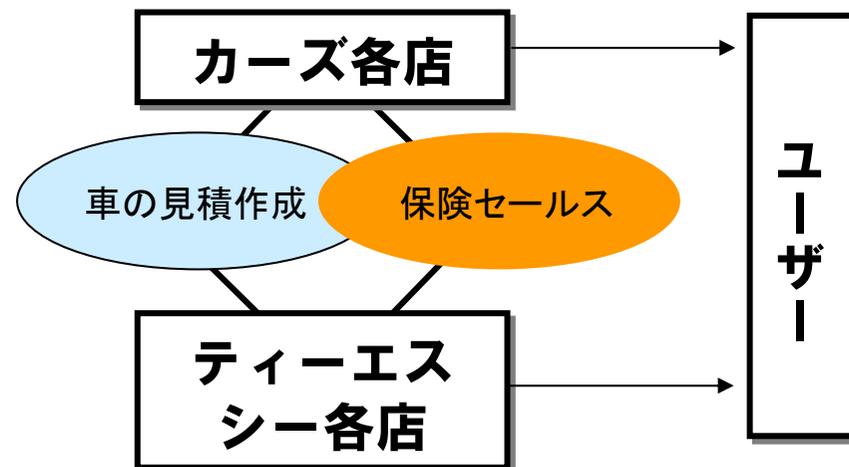
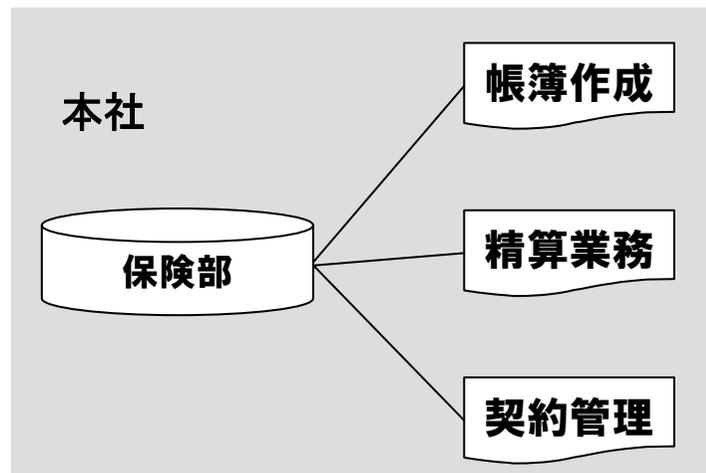
- 主力商品：自動車ローン「ホンダ東葛オリジナルローン」
（ローン手数料収入）の徹底推進

一般の自動車ローンが「立替払い方式」を多く採用しているのに対し、
当社では「集金保証方式」を採用し、収益の安定確保につなげています。



事業戦略＜その他部門・損害保険＞

- カーズ・ティーエスシーの2代理店を設置、それぞれの顧客にきめ細かい管理対応を実現
- 2代理店ともあいおい損害保険株式会社の保険代理店の最上級種別である「特級」の認定を受ける
- 受注車両に対する、新規契約奪取の提案活動を徹底し、新規付保率の向上を図る
- 継続率をアップさせるため、2ヶ月前の満期案内、1ヶ月前の継続完了を基本動作とする



事業戦略<その他部門・生命保険>

- 来店型総合保険ショップ<ライフ・サロン>の展開
- 柏南口・新松戸の2店舗が稼動、認知度も向上し
契約数も増加中であり、早期に収益の柱としての確立を目指す

<ライフサロン柏南口店>



<ライフサロン新松戸店>



平成22年3月期業績予想（連結）

単位：百万円

	21年3月期 通期（実績）	22年3月期 通期（予想）	増減率
売上高	5,761	6,383	10.8%
経常利益	108	210	93.6%
当期純利益	41	105	156.2%

ご注意：この資料は、当社の一般公開情報に基づいて作成された資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

I R連絡先

お問い合わせ先

- 本件に関するお問合せ先
- 株式会社東葛ホールディングス IR担当
- 本社：千葉県松戸市小金きよしヶ丘3-21-1
- 電話番号：047-346-1190
- ファックス：047-345-1159
- ホームページ：<http://www.tkhd.co.jp>